

関係者各位

令和元年6月13日
宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大0.17細胞/ml(香川県の場合、注意報:100細胞/ml、警報:1,000細胞/ml)、アカシオサングイネアが最大0.04細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.01細胞/ml確認されました。現在、赤潮原因プランクトンの細胞数は少ない状態ですが、今後、細胞数の急激な増加によっては、飼育魚のへい死の可能性も考えられるため、海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大0.12細胞/ml、アレキサンドリウム属が最大0.09細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	アカシオ サングイネア	プロロセントラム属	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンドリウ ム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ml)				
弘浦①(別図①) 採水時間 9:36 透明度 7.0 m	10.0	22.9	34.4	6.6	0	0	0	0	0
立石(別図⑫) 採水時間 9:37 透明度 7.3 m	10.0	22.7	34.4	6.5	0	0.01	0	0	0
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:55 透明度 6.0 m	3.0	24.6	34.2	6.7	0	0.04	0.01	0	0.06
青瀬山(別図③) 採水時間 10:01 透明度 5.5 m	10.0	23.2	34.4	6.4	0	0.02	0	0.12	0
一切田(別図⑪) 採水時間 10:07 透明度 6.2 m	5.0	23.9	34.4	6.8	0	0.02	0	0	0
白簗(別図④) 採水時間 10:18 透明度 6.5 m	10.0	22.5	34.4	6.0	0	0	0	0	0